

平成26年度 鴨志田中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

いろいろな場面での学習活動を通して、互いに認め合い、素直な気持ちで相手を思いやることができる心情や態度を育てていきます。

生徒の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

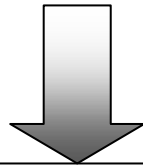
生徒一人ひとりには落ち着いて穏やかに生活している。だが、自分を中心に物事を考えて行動する生徒や、軽い気持ちで相手を傷つけてしまう発言をする生徒もいる。また、そのような態度に対して、我慢することで解決してしまおうとする生徒も多い。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

生徒一人ひとりが自己を見つめ直し、他者を認めることのできる学級活動を展開する。

全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。

家庭や地域との交流を図り、様々な年代とのふれあう中でコミュニケーション力を高める。



指針1「道徳の時間」の充実

【視点2:児童・生徒にとって魅力的な教材】

・道徳教育の要となる「道徳の時間」において、今生徒に必要なことを取り上げることで多様な考え方、他人を思いやる気持ち、感謝の気持ちをもてるようにすることをめざす。

指針2 体験活動の充実

【視点4:発達の段階と照らした課題の位置づけとキャリア教育】

・キャリア教育を実践しながら、自分と向き合い、集団や社会の一員であることを実感しながら、思いやりの心や規範意識、望ましい勤労観、職業観について考え、実践できることをめざす。

平成25年度 ○○学校「豊かな心の育成」推進プラン（例）

中期学校経営方針に記した「共通取組内容・達成目標（27年度末の姿）豊かな心」に記載したことを記入します。

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切に
する心情や態度を育てています。

自校の児童生徒の実態を市学状調査の生活意識調査を活用したり具体的な場面をあげたりしながらとらえ「豊かな心の育成」に関わる課題を示します。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

落ち着いて穏やかに生活している。地域からの協力も得られ、人とのかかわりをもてる。
子どもたちは自分から挨拶をすることが苦手であり、コミュニケーションをとるのにやや
消極的な傾向にある。道徳的価値は理解しているが行動に表せないことも多い。

把握した児童生徒の状況をふまえ、各学校で「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針を示します。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・縦割り活動の充実を図り、異年齢集団活動を通し、思いやりの心や協力する心を育てる。
- ・家庭や地域との連携を図り、多くの人と関わることでコミュニケーション力を高める。

「豊かな心の育成」にかかわる様々な取組について、指針1～4、視点1～11を参考にして、各学校が現在取り組んでいることや、今年度から取り組んでいくことを整理し、示します。

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域（年に1回以上）に公開する。
- ・道徳教育について、家庭、地域に発信する。
学校掲示板、学校だより、学級だより等にて家庭・地域に発信し、意識の啓発を図ると共に、連携して子どもを育み、家庭・地域の指導力を道徳の時間に生かす。【視点1】

4つの指針を全て書くということではなく、かかわりのある指針のみ、お書き下さい。

指針2 体験活動の充実

- ・縦割り活動など異年齢活動を充実させる。
「児童会活動」「生徒会活動」「クラブ活動」「縦割り集団活動」などの「異年齢集団活動」をより自主的、意欲的に行うようにする。【視点3】

該当する視点を御記入下さい。